

これからの広報の意見を交換

市民編集委員の座談会

市民が広報紙作りに参加する「市民編集委員」の2年間の任期が終わりです。そこで今回は山本市長を交えて、成果や感想を話し合う座談会を開催。司会は星野さんです。

問い合わせは 市政発信課 ☎027-898-5847



取材を通じて感じたこと

市長 2年間お疲れ様でした。皆さんが制作した紙面を見て

いまして、皆さんならではの視点で、よく取材していただいたと思っ

星野 2年間で、さまざまな場所に取材に行きましたね。

船津 私は子育て支援を担当

しました。実際に現場に行ってみると、保育士、保護者、

経営者全員に熱意があり、皆さんが安心して保育園を使っているのが、よく分かりましたね。また、国際交流の記事では、それぞれの立場に立って考えて企画を練りました。

星野 やはり、関わってみて

初めて、こんな事業があったのだなと驚くことも多いですよ。

齋藤 私は、障害者の働く現場と、小型家電回収事業の取材に行きました。どちらも非常に興味のある分野。小学生

以来の社会科学見学みたいで、非常にどきどきしましたね。

星野 中に飛び込んでみないと、実際は近いことも、身近なこととして感じられないですよ。

吉澤 取材の目的は市民に知らせることですが、自分自身の勉強にもなりました。最初は自分ができるかと不安でしたが、全てがよい経験でした。取材で行った「こども

図書館」には、孫を連れて通うようになったのですよ。

星野 自分の取材以外にも、他の人が取材した記事と一緒に考えるのも勉強になりましたね。

林 市民編集で広報紙と向き合ったことで、目が開き、多くのことに意識が向くようになりました。広報紙作りには、いろいろな立場の人が参加すると多様性が生まれます。声

の小さい人の意見を取り上げるシステムや仕掛けが、社会の中には必要なのではないでしょうか。みんなが幸せに暮らし、街をより活性化できるヒントがあるかもしれません。

市長 市民編集委員の率直な



熱心にメモをとる長木さん



利用者にもインタビューしました



山本 龍市長

周東 聖子さん

吉澤 公世さん



船津 亮二さん

林 恵津子さん

齋藤 佐保里さん

星野 まゆみさん

手を取り合って担う明日

声は、まさに読み手が関心を持つことです。自分から積極的に情報を収集していただけない場合でも、しっかりと大切なことが伝わるようにするのは市役所の役目です。文字で伝わる広報をいかに読みやすくするか。このことには、これからも苦労して頑張っていきます。

星野 これからの前橋がこうあったらいいな、住みやすくなるなというのを話しませんか。

周東 市民編集委員の活動で、行政との間には、壁を感じませんでした。そのとき、市役所はオープンであったのにも、私たち市民のほうが、敷居を

つくっていたのではと気づきました。行政は市民とともにつくられるものですし、参加することが大切です。何かをよくしたいと思ったときに、それぞれの立場を、行政だ、市民だと主張していても、一向に前に進みません。お互いが自分のことと感

じてやっっていくことが、一番大切なだろうなと活動を通じて分かりました。

それから、市民編集委員に、学生や前橋で暮らしている外国人にも参加してもらいたいんです。いろいろな世代、立場から前橋を見ていくことの大切さ。私も林さんと同じように感じています。

星野 広報は、待っているだけでは分かってもらえない。より積極的に宣伝していくことが必要かもしれません。

齋藤 市民編集のページのよ

うに市民が参加して、広めていくことが大事ですね。
市長 情報発信は、これからの市役所で一番のサービスだと思



生かしますよ。本日は直接お話をできてよかったです。2年間の任期、皆さんに楽しんでもらえてよかったです。私も2年間市長をやっていて、素晴らしいことがたくさんありました。驚きの連続であったのは皆さんと同じ経験です。本当にありがとうございました。

星野 ありがとうございます。また来年度からの新しい市民編集委員の活躍に期待しましょう。



取材は驚きの連続でした



現場でしか分からないことも



こども図書館で館長と会話

来年度からの
市民編集委員を募集

本紙の「市民が作る市民編集のページ」の企画・取材・原稿執筆などを行う市民編集委員を募集します。あなたも広報紙作りに参加してみませんか。

対象＝市内在住の18歳以上、8人(選考)
任期＝4月1日(火)～平成28年3月31日(休)
申し込み＝3月14日(金)までにハガキで。住所・氏名・年齢・性別・職業(学校名)・電話番号を記入し、市役所市政発信課「市民編集係」へ